

2009年数論幾何学セミナー予定

連絡先 : 中村 郁

nakamura@math.sci.hokudai.ac.jp

Homepage <http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/~nakamura>

%%
%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2010年1月8日-9日(金, 土) 2日間

場所: 北海道大学理学部3号館 3-413

講演者: 梶原 健(横浜国立大学)

タイトル: トロピカル幾何と代数幾何

日程予定

1月8日(金) 10:00--12:00 (3-413)

1月8日(金) 14:00--16:00 (3-413)

1月9日(土) 10:00--12:00 (3-413)

1月9日(土) 14:00--16:00 (3-413)

Abstract:

%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2010年2月19日-20日(金, 土) 2日間

場所: 北海道大学理学部3号館 3-413

講演者: 近藤 智(IPMU)

日程予定

2月19日(金) 14:30--16:00 (3-413) ドリinfeld加群について(概説)

2月20日(土) 10:00--11:30 (3-413) 代数的K群について(概説)

2月20日(土) 14:00--15:30 (3-413) 関数体上の楕円曲線の有理K²について

%%

代数幾何学・数論幾何学セミナーのお知らせ

2009年12月24日-25日(木, 金) 2日間

場所: 北海道大学理学部3号館 3-205, 3-413

講演者: 伊山 修(名古屋大学)

タイトル: 「Cohen-Macaulay加群の表現論と代数的 McKay 対応」

日程予定

12月24日(木) 10:00--12:00 (3-307)

12月24日(木) 14:00--16:00 (3-307)

12月25日(金) 10:00--12:00 (3-413)

12月25日(金) 14:00--16:00 (3-413)(予備)

%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2009年11月19日-20日(木,金)2日間

場所:北海道大学理学部3号館3-413など

講演者:千田 雅隆(学術振興会研究員,京都大学)

タイトル:保型形式に付随する p 進 L 関数(時間の変更*印にご注意下さい)

日程予定

11月19日(木)10:00--12:00(3-307)

11月19日(木)14:00--16:30*(3-307)

11月20日(金)10:00--12:00(3-413)

11月20日(金)16:00*--17:30*(3-413)

Abstract:

1時間目:Mazur-Tate-Teitelbaumの p 進 L 関数2時間目:Bertolini-Darmonの p 進 L 関数

3時間目:岩澤主予想の定式化

4時間目:知られている結果

講演概要:

今回のセミナーでは楕円保型形式の L 関数の特殊値を補完して得られる二種類の p 進 L 関数について紹介したいと思います。

一つは Mazur-Tate-Teitelbaum によって構成された modular symbol を用いて定義される cyclotomic p 進 L 関数であり、もう一つは Bertolini-Darmon によって構成された Gross element を用いて定義される anti-cyclotomic p 進 L 関数です。

これらの p 進 L 関数の特殊値についても様々な予想が定式化されており、関連するいくつかの興味深い結果について紹介させていただきます。

(Exceptional zero conjecture, p -adic Gross-Zagier 等)

さらにこれらの p 進 L 関数を用いた岩澤主予想の定式化について述べたのち、現在進行中の anti-cyclotomic p 進 L 関数の研究について紹介させていただこうと考えております。

(千田雅隆)

%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2009年11月5日-6日(木,金)2日間

場所:北海道大学理学部3号館3-413など

講演者:青木昌雄(学術振興会研究員,東京大学)

タイトル:algebraic stack 理論入門

日程

数論幾何学セミナーのお知らせ

2009年6月18日-19日(木,金)2日間

場所:北海道大学理学部3号館3-205/3-413

講演者

都築暢夫(東北大学)

タイトル:リジッドコホモロジー入門

日程予定

6月18日(木)10:30--12:30 (3-205)

6月18日(木)14:30--16:30 (3-205)

6月19日(金)10:30--12:00 (3-413)

6月19日(金)13:00--14:30 (3-413)

標数 $p > 0$ の代数多様体の良い p 進コホモロジー理論であるリジッドコホモロジーの解説と最近の動向について話す。

リジッドコホモロジー論は80年代前半にP.Berthelotが導入したもので、多くの研究者に寄与により90年代半ばから飛躍的に進展し、有限次元性やポアンカレ双対性、固定点定理など特異多様体の場合にも良いコホモロジーとなることが知られている。この連続講義では、リジッドコホモロジーの入門的解説と今後の課題について論じたい。

講義の内容は以下の通り。

- (1) 管状近傍と繊維定理
- (2) 過収束関数
- (3) リジッドコホモロジー
- (4) 良いコホモロジーか?
- (5) 係数: 過収束Fアイソクリスタルと数論的D加群

%%%

代数幾何学セミナーのお知らせ

2009年6月15日-16日(月,火)2日間

場所:北海道大学理学部3号館3-309/3-202

講演者 N.I.Shepherd-Barron (Cambridge)

%%%

Seminars on Algebraic Geometry, 15-16 June, 2009

Faculty of Science 3-rd Building, Rooms 3-309/3-202

N.I.Shepherd-Barron (Cambridge)

6/15(Monday) 15:00-16:00 at 3-309

Title: Exceptional loci in compactifications of A_g

(abstract: It is now known that varieties of general type have canonical models. We discuss how to make this effective for A_g , the moduli space of principally polarized abelian varieties.)

6/16(Tuesday) 15:00-16:00 at 3-202

Title: The structure of square roots of theta-nulls on M_g

(abstract: it is known that the vanishing of an even theta-null defines a divisor of multiplicity 2 on the moduli space M_g of curves. We give a determinantal description of this.)

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2009年6月4日-5日(木,金)2日間

場所: 北海道大学理学部3号館3-413

講演者

坂内健一(慶応大学)

タイトル: Eisenstein 類, Katz 測度と p 進 L 関数

(Eisenstein classes, Katz measure, and the p -adic L -function)

日程予定

6月4日(木) 10:30--12:30 (3-413)

6月4日(木) 14:30--16:30 (3-413)

6月5日(金) 10:30--12:00 (3-413)

6月5日(金) 13:00--14:30 (3-413)

Abstract:

楕円ポリログ層とは、Moduli 空間上の普遍楕円曲線上に住む motivic な対象です。この対象を moduli 空間まで引き戻して得られるのが Eisenstein 類です。この講演では、Eisenstein 類の p 進実現が、N. Katz の定義した p 進 Eisenstein 類やそれらを補完する測度で与えられる、という、G. Kings と講演者の最近の結果について解説します。この方法を使うと、Eisenstein 類と虚 2 次体の Hecke 指標に付随する p 進 L 関数の関係も導かれるはずであり、その点についても解説しようと思います。

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2009年2月23日-24日(月,火)2日間

場所:北海道大学理学部8号館8-307

講演者

森下昌紀(九州大学)

Analogies between knot theory and number theory

日程予定

2月23日(月)10:30--12:00

2月23日(月)14:00--15:30

2月24日(火)10:30--12:00

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2009年1月5日-8日(月,火,水,木)4日間

場所:北海道大学理学部8号館

講演者

落合理(大阪大学)

小林真一(名古屋大学)

テーマ

岩沢理論の周辺

日程予定

1月5日(月)10:00--12:00 小林(8-101)

1月5日(月)14:00--16:00 小林(8-101)

1月6日(火)10:00--12:00 小林(8-101)

1月6日(火)15:00--17:00 小林(8-307)

1月7日 (変則的ですのでご注意ください)

1月7日(水)9:30--11:30 落合(8-307)

1月7日(水)13:30--15:30 落合(8-309)

1月7日(水)16:00--18:00 落合(8-302)

1月8日 (変則的ですのでご注意ください)

1月8日(木)13:00--15:00(延長あり) 落合(8-101)

小林さんの講演予定:

1. 楕円曲線の岩沢理論への導入
2. 楕円曲線の岩沢主予想(超特異素点の場合を中心に)
3. 楕円曲線のColeman写像(超特異素点の場合を中心に)
4. Mazur-Tate-Teitelbaum予想への応用

落合さんの講演予定：

1. イデアル類群の岩澤理論の概論
2. ordinary motif への一般化 (導入)
3. ordinary motif への一般化 (楕円曲線やモジュラー形式の場合に知られていること)
4. さらに一般化「変形空間への岩澤理論」について

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2008年12月23,24,25,26日(火,水,木,金)の4日間

場所：北海道大学理学部 8号館

講演者

田口雄一郎(九州大学)

安田正大(京都大学)

テーマ

ガロア表現の周辺

12月23日(火)	10:00--12:00	(8-307)	田口
12月23日(火)	14:00--16:00	(8-307)	田口
12月24日(水)	10:00--12:00	(8-307)	田口
12月24日(水)	14:45--16:45	(8-302)	安田
12月25日(木)	10:00--12:00	(8-302)	安田
12月25日(木)	14:00--16:00	(8-101)	安田
12月26日(金)	10:00--12:00	(8-101)	安田

予定されている内容：

Serre 予想の色々な一般化，

たとえば，Ash-Sinnott の予想

(有理数体上の $GL(n)$ の場合の Serre 予想)

Buzzard-Diamond-Jarvis の、総実代数体上の

$GL(2)$ の場合の Serre 予想、

Figueiredo, Sengun の、虚二次体上の

$GL(2)$ の場合の Serre 予想、

さらにその詳しい解説など。

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2008年10月14-15日(火,水)

場所:北海道大学理学部

Henrik Russell (University of Duisburg-Essen)

10/14 Tuesday 10:00-12:00(8-101), 15:00-17:00(8-102)

Generalized Albanese and duality (1)(2)

10/15 Wednesday 13:00-15:00(8-309)

The related topics (3)

10/15 Wednesday 10:00-11:00(8-102) 服部新

特別講演: On a ramification estimate and
geometric torsion Galois representations

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

7月29,30日(火,水)

場所:北海道大学理学部

玉川安騎男(京都大学数理解析研究所)

講演タイトル:

アーベル多様体のねじれ点の普遍上界予想について

1. 一般論と楕円曲線の場合の結果

2. 代数体上のアーベル多様体に関するある有限性予想

(Christopher Rasmussen氏との共同研究)

3. アーベル多様体の1次元族に対する p 普遍上界予想とその応用

(Anna Cadoret氏との共同研究)

(初日の2回で1と2、2日目の2回で3について講演する予定ですが、
だんだんずれていく可能性もあります。)

7月29日(火) 10:00--12:00 (8-307)

7月29日(火) 14:00--16:00 (8-307)

7月30日(水) 10:00--12:00 (8-102)

7月30日(水) 14:00--16:00 (8-101)

[Abstract]

1. アーベル多様体のねじれ点やガロア表現に関する基礎的な知識をまとめたあと、普遍上界予想を定式化し、楕円曲線の場合の結果(Manin, Mazur, ..., Merel)を紹介します。あまり技術的な部分に入り込まず、非専門家の方にも優しい講演を目指したいと思います。

2. 射影直線引く3点の副 p 基本群上の(外)ガロア表現に関するいわゆる伊原の問題に関連して、与えられた代数体上ある種の条件を満たすアーベル多様体を考えることが自然になって

きますが、このようなアーベル多様体は、基礎体と次元を固定すると有限個しか存在しないのではないかと予想されます。この有限性予想は、アーベル多様体のねじれ点の普遍上界予想と直接的な関係があり、Rasmussen さんとの最近の共同研究により、基礎体が有理数体のときは、次元が 3 以下の場合と一般 Riemann 予想の仮定下での一般次元の場合が証明できました。(楕円曲線の場合は、完全なリストも得られています。)講演では、有限性予想の定式化と証明の概略について紹介させていただきたいと思います。

3. アーベル多様体の族をアーベルスキームと言います。Cadoret さんとの最近の共同研究により、

A. 曲線上のアーベルスキームの p 冪ねじれ点に付随する曲線の被覆の塔 (モジュラ曲線上の普遍楕円曲線族の場合に $X_1(p^n)$ や $X_0(p^n)$ にあたるもの) の種数の下からの評価

B. 与えられた素体上有限生成な体上の曲線上のアーベルスキームの、有理点におけるファイバーに現れるアーベル多様体の p 冪ねじれ点に対する普遍上界予想の解決

C. 正則逆ガロア問題に関連する Fried のモジュラタワー予想の 1 次元の場合の解決

が得られました。証明は、 $A \rightarrow B \rightarrow C$ の順に行います。講演では、これらの結果 (と時間があれば今後の展望) について紹介させていただきたいと思います。

%%
%%

数論幾何学セミナーのお知らせ
7月15,16日(火,水)
場所:北海道大学理学部

木田雅成(電気通信大学)
一回目 逆ガロア問題と生成多項式
二回目 楕円曲線の同種写像と生成多項式の分類
三回目 楕円曲線の計算 -- いま何が計算機でできるのか

7月15日(火) 10:00--12:00 (8-307)
7月15日(火) 14:00--16:00 (8-307)
7月16日(水) 10:00--12:00 (8-102)
7月16日(水) 14:00--16:00 (8-101)

%%

数論幾何学セミナーのお知らせ
5月30日(金) 13:00-14:30
6月06日(金) 13:00-14:30(中止になりました)

%%
 %%%
 2007年数論幾何学セミナー記録

数論幾何学セミナーのお知らせ\\

2008年2月19-22日

%%
 %%%

場所：北海道大学理学部

2月19,20日 佐藤周友(名古屋大学)

代数的サイクルとサイクル写像

1回目：代数的サイクルの定義と交叉理論、いろいろな予想など

2回目：サイクル写像と加藤複体

3回目：整数環上の p 進的なサイクル写像

4回目：局所体上の0サイクルについての最近の進展

2月19日(火)10:00 - 12:00 (8-307)

2月19日(火)14:00 - 16:00 (8-307)

2月20日(水)10:00 - 12:00 (8-102)

2月20日(水)14:00 - 16:00 (8-102)

セミナーの追加講演

2月19日(水)16:15 - 18:15 (8-102)

服部 新: Crystalline Dieudonne theory

2月21,22日 朝倉政典(九州大学)

Tate 曲線の K_2 と p 進レギュレーター

1. 高次 K 群と高次チャーン類写像

2. Bloch 群と Bloch-Wigner 関数

3. Tate 曲線の K_2 と p 進レギュレーター (1)

4. Tate 曲線の K_2 と p 進レギュレーター (2)

2月21日(木)10:00 - 12:00 (8-102)

2月21日(木)14:00 - 16:00 (8-102)

2月22日(金)10:00 - 12:00 (8-101)

2月22日(金)15:00 - 17:00 (8-101)

%%
 %%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2008年1月8-11日(火-金)

場所：北海道大学理学部

(部屋が複雑に変化するのでご注意ください)

三枝洋一(東京大学)： つぎの論文の紹介

Fontaine, Arithmetique des representations

galosiennes p -adiques.

Cohomologies \mathbb{Z}_p -adiques et applications arithmetiques.

III. Asterisque No. 295 (2004), xi, 1--115.

1月8日(火)10:00 - 12:00 (8-102)

1月8日(火)14:00 - 16:00 (8-307)

1月9日(水)10:00 - 12:00 (8-102)

1月9日(水)15:00 - 17:00 (8-102)

吉田輝義 (Cambridge university)

(佐藤予想の周辺)

1月10日(木)10:00 - 12:00 (8-102)

1月10日(木)14:00 - 16:00 (8-102)

1月11日(金)10:00 - 12:00 (8-101)

1月11日(金)13:30 - 15:30 (8-101)

%%%

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2007年12月21,22日(金-土)

場所：北海道大学理学部 (8-302)

21日 10:00-

長岡 昇勇 (近畿大学) : (依頼 :

Siegel modular forms mod p に関する話題)

21日 14:00-, 22日 10:00-, 14:00-

市川 尚志 (Takashi Ichikawa) (佐賀大学) :

Congruence and \mathbb{Z}_p -adic properties of Siegel modular forms

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ\

2007年11月30日, 12月1日, 12月8日 13:30-

2007年12月8日 13:30-は最終回.

場所：北海道大学理学部 8-307

服部 新 (北大 COE)

<http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/~shin-h>

ARGOS Seminar on intersections of modular correspondence

Ast'erisque 312 (2007) の紹介 (4)(5)(6)

-----Gros, Keating, Invent. Math. 112 (1993) の解説.

第1回：10月6日 13:30-17:00 Overviews

第2回：10月19日(金)13:30-17:30 ARGOS seminar の本の chapter 4,5.

第3回：11月9日(金)13:30-17:30 ARGOS seminar の本の chapter 4,5,6.

第4,5回：11月30日(金)12月1日 13:30-17:30 Canonical Lift など.

%%
 %%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2007年8月28日(火)-29日(水)

場所：北海道大学理学部 8-307(予定)

Kai-Wen Lan (Harvard 大学)

: Arithmetic compactifications of PEL-type Shimura varieties (1)-(4)

August 28 :10:00-12:00, 14:00-16:00

August 29 :10:00-12:00, 14:00-16:00

Abstract:

In these lectures we explain how to construct the toroidal and minimal compactifications for smooth integral models of PEL-type Shimura varieties (as defined in the works of Kottwitz and many other people), using generalizations of the techniques developed by Mumford and Faltings-Chai. The essentially new ingredient is the emphasis on level structures, realized by a technical calculation of Riemann forms, which enables us to predict the level structures from the degeneration data, and hence enables us to construct the boundary charts over which there does exist a valid level structure.

%%
 %%%

数論幾何学セミナーのお知らせ

2007年8月3日(金)-4日(土)

場所：北海道大学理学部 8-302(予定)

8月3日(金)

服部 新: p-adic Properties of Modular Schemes and Modular Forms (1)(2)

(due to N.Katz at 1972 Antwerp summer school)

10:00-12:00, 13:30-15:15

長岡昇勇: On mod p properties of Siegel modular forms (1)

15:30-17:30

8月4日(土)

服部 新: p-adic Properties of Modular Schemes and Modular Forms (3)(4)

10:00-12:00, 13:30-15:15

長岡昇勇: On mod p properties of Siegel modular forms (2)

15:30-17:30

%%
 数論幾何学セミナーのお知らせ

2007年6月12日(火)-15日(金)

場所：北海道大学理学部

萩原 啓(東京大学)：

An introduction to A^1 -homotopy theory (1)-(4)

6月12日(火)10:00 - 12:00 (8-307)

6月12日(火)14:00 - 16:00 (8-307)

6月13日(水)10:00 - 12:00 (8-102)

6月13日(水)14:00 - 16:00 (8-102)

山下 剛(京都大学)：(5/8-5/11のあとに講義概要があります)

An introduction to p -adic Hodge theory (1)-(4)

6月14日(木)10:00 - 12:00 (8-102)

Lecture 1: Hodge-Tate decomposition

6月14日(木)14:00 - 16:00 (8-102)

Lecture 2: p -adic period rings

6月15日(金)11:00 - 13:00 (8-102)

Lecture 3: p -adic representations

6月15日(金)15:00 - 17:00 (8-102)

Lecture 4: 予備の時間

%%
 数論幾何学セミナーのお知らせ

2007年5月8日(火)-11日(金)

場所：北海道大学理学部 (8-102)

三枝洋一(東京大学)：

An introduction to crystalline cohomology (1)-(4)

5月8日(火)10:00 - 12:00

5月8日(火)14:00 - 16:00

5月9日(水) 9:30 - 11:30

5月9日(水)13:00 - 15:00

原下秀士(東京大学)：Zinkの論文の紹介

"The Display of a Formal p -Divisible Group" (1)-(4)

5月10日(木)10:00 - 12:00

5月10日(木)14:00 - 16:00

5月11日(金)11:00 - 13:00

5月11日(金)15:00 - 17:00

%%
 %%%
 山下 剛 講義概要

概要：

Tate により始まり Fontaine が発展させ、Faltings, Niziol, Fontaine, Messing, 加藤, 辻たちにより理論の一段落をみた p 進 Hodge 理論は現在数論幾何学を研究するにあたって必須のものとなっている (敬称略. 以下同様).
 例えば,

1. Diophantine 幾何への応用

古くは Faltings が Mordell 予想を証明する時に Tate による Abel 多様体の Hodge-Tate 分解を使った.
 近年は Kim が基本群と p -進 Hodge 理論を用いて Diophantine 幾何への新しいアプローチを始めた.

2. 岩澤理論への応用

Bloch-加藤による玉河数予想, 加藤による一般化岩澤理論の定式化は p 進 Hodge 理論が不可欠である.
 また, 加藤の一般化明示的相互法則とそれを適用した保型形式の岩澤理論も p 進 Hodge 理論が欠かせない.
 上の 1 や以下の 3・4 と重複するが,
 p 進 Hodge 理論を用いて Bloch-加藤により導入された 1 次の Galois コホモロジーの有限部分 (H^1_f) は「 p での局所的条件」を考えるのに各方面で非常に応用されている.

3. $R=T$ への応用

Wiles は Fermat 予想を証明する中で p 進 Hodge 理論の torsion 理論である Fontaine-Laffaille の理論を用いた.
 Wiles の仕事の延長上にある Breuil-Conrad-Diamond-Taylor による志村谷山予想の解決では Fontaine-Laffaille 理論の延長上にある Breuil 加群の理論を用いたことは記憶に新しい.
 また, 近年 Taylor とその共同研究者たちにより (緩い条件の下) 佐藤-Tate 予想が証明されたり, Wintenberger-Khare により Serre 予想が証明されたりしたが, それらは Breuil 加群を用いた Kisin の理論に負うところが大きい.

4. Chow 群の研究への応用

Langer-斎藤や Nekovar による Chow 群の研究では p 進 Hodge 理論を本質的に必要としている.

5. Langlands 対応

Faltings による local Langlands の vanishing cycle 側と rigid 側の同値性の証明にも p 進 Hodge 理論が使われる.
 また, $l(p)$ 進での local Langlands 対応に対する p 進の local Langlands 対応も近年盛んに研究されている.

数論幾何学セミナーのお知らせ .

2006年8月18日 19日

場所：北海道大学理学部 8号館 8-307

原下 秀士

(学術振興会, 北海道大学大学院理学研究院)

Introduction to Shimura Varieties

- 「Travaux de Shimura」と「Varieties de Shimura」の解説 -

(1)-(4)

8/18	10:00-12:00	14:30-16:30
8/19	10:00-12:00	14:30-16:30

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ .

2006年8月9日 15:00-16:30

場所：北海道大学理学部 3号館

3-508

Professor Noriko Yui

(Queen's University, Canada)

Motives, mirror symmetry and modularity

%%%

数論幾何学セミナーのお知らせ .

2006年7月3日- 7日

場所：北海道大学理学部 8号館

7/3	10:00-12:00 Konno	15:00-17:00 Konno	
7/4	10:00-12:00 Konno	14:30-16:30 Konno	
7/6	10:00-12:00 Mieda	14:30-16:30 Mieda	
7/7	10:30-12:30 Mieda	14:30-16:30 Mieda	

%%%

プログラム (連続講演)

今野拓也

(九州大学大学院数理学府)

保型表現と関連する話題 (1)-(4)

7/3 月 10:00-12:00 (Room 8-101) 保型表現への導入

7/3 月 15:00-17:00 (Room 8-101) $GL(n)$ 上の保型形式

7/4 火 10:00-12:00 (Room 8-302) \mathbb{Z} 不可分性と内視論

7/4 火 14:30-16:30 (Room 8-302) 重複度予想と志村多様体への応用

%%%

三枝 洋一 (東京大学大学院数理科学研究科)

Drinfeld 上半空間とその周辺 (1)-(4)

(the Drinfeld upper half space and related topics)

7/6 木 10:00-12:00 (Room 8-102)

7/6 木 14:30-16:30 (Room 8-101)

7/7 金 10:30-12:30 (Room 8-101)

7/7 金 14:30-16:30 (Room 8-101)

%%
過去の記録

%%
数論・代数幾何学セミナーのお知らせ .

2006年4月

4/24	10:00-12:00 Ikeda	15:30-17:30 Ikeda	
4/25	10:00-12:00 Ikeda	14:00-16:00 Ikeda	
4/26	10:00-12:00 Ito	13:30-15:30 Ito	16:00-17:00 Harashita
4/27	10:00-12:00 Ito	14:00-16:00 Ito	
4/28	10:30-12:30 Mieda	14:00-16:00 Mieda	
4/29	10:30-12:30 Mieda		

%%
プログラム (連続講演)

池田保

(京都大学)

講演タイトル

Lifting of Siegel modular forms and related topics)

(1)-(4)

日程

4/24 月 10:00-12:00 (Room 8-101)

4/24 月 15:30-17:30 (Room 8-101)

4/25 火 10:00-12:00 (Room 8-101)

4/25 火 14:00-16:00 (Room 8-101)

%%

プログラム (連続講演)

伊藤哲史

(京都大学理学部, 学振)

講演タイトル

志村多様体の p 進一意化とその応用

(p -adic uniformization of Shimura varieties
and its applications)

(1)-(4)

- ・ 志村多様体の紹介, モジュライ解釈,
(代数体上/整数環上のモデルの構成)
- ・ 志村多様体の p 進一意化理論
(Mumford, Cherednik, Drinfeld から Rapoport-Zink 理論へ)
- ・ 整数環上のモデルに関する問題について .

- (局所モデル, 特異点の構造, 消滅サイクル, 特異点解消, etc.)
 ・応用 (weight-monodromy 予想, Langlands 対応への応用, 等)

日程

4/26 水 10:00-12:00 (Room 8-101)

4/26 水 13:30-15:30 (Room 8-101)

4/27 木 10:00-12:00 (Room 8-101)

4/27 木 14:00-16:00 (Room 8-101)

%%%

原下 秀士 (北海道大学 学術振興会特別研究員)

正標数のアーベル多様体のモジュライ

(central streams の configuration) (仮題)

4/26 水 16:00-17:00 (Room 8-101)

%%%

三枝 洋一 (東京大学 博士課程在学)

Lefschetz 跡公式とその応用

(The Lefschetz trace formula and its applications)

4/28 金 10:30-12:30 (Room 8-101)

4/28 金 14:00-16:00 (Room 8-101)

4/29 土 10:00-12:00 (Room 8-101)

%%%

%%%

過去のセミナー記録

%%%

プログラム (連続講演)

吉田輝義

(京都大学 および Harvard university)

志村多様体と $GL(n)$ に対する Langlands 対応 (1)-(4)

1/19 木曜日 10:00-12:00 (Room 8-307)

1/19 木曜日 14:00-17:00 (Room 8-302)

1/20 金曜日 10:00-12:00 (Room 8-307)

1/20 金曜日 13:30-15:30 (Room 8-307)

%%%

過去の記録

%%%

プログラム (連続講演)

三枝 洋一 (東京大学数理)

「Lafforgue のコンパクト化と
関数体上の Langlands 対応」 (1)(2)(3)(4)

スケジュール

- 1/16 月曜日 16:30-18:30 (Room 8-307)
- 1/17 火曜日 10:00-12:00 (Room 8-101)
- 1/17 火曜日 14:30-16:30 (Room 8-101)
- 1/18 水曜日 15:00-17:00 (Room 8-102)

場所：月火は 8-101， 水は 8-102

%%
プログラム

Two lectures

Luc Illusie 教授 (Universite de Paris-Sud, Orsay)

- (1) Traces in l -adic cohomology, concentrating on rationality, integrality and divisibility questions.
- (2) Serre's recent results on l -divisibility and application (to bounding the orders of finite l -subgroups of semisimple groups).

12/28 水. 15:30-16:30 (Room 8-101)

12/29 木. 10:30-12:00 (Room 8-101)

%%
Oleg Demchenko (St. Petesburg univ.)

Dieudonne modules (1)(2)(3)

スケジュール

- 10月17日 15:00-17:00
- "Dieudonne modules" (1)
- 10月18日 10:00-12:00
- "Dieudonne modules" (2)
- 10月18日 14:00-16:00
- "Dieudonne modules" (3)

場所：8-101

%%
プログラム (連続講演)

大森常住 (北海道教育大学岩見沢)

「Deligne-Lustzig コンパクト化に対する Tate 予想」

- (1) 7/28 10:00-12:00 (8-307)
- (2) 8/24 10:00-12:00 (8-307)
- (3) 8/24 14:00-16:00 (8-307)

プログラム (連続講演)

山内卓也 (広島大学理学部)

「モジュラーな (GL₂-type の) 代数多様体入門」

---- Q-curves から Q-motives へ

5/12 Thurs. 10:00-12:00 (8-101)

5/12 Thurs. 14:00-16:00 (8-101)

5/13 Fri. 10:00-12:00 (8-101)

プログラム (連続講演)

Noriko Yui (Queen's University, Canada)

%Kingston, Ontario, Canada

5/30 Mon. 16:30-17:30 (3-508) Colloquium

Arithmetic aspects of mirror symmetry and Calabi-Yau varieties

5/31 Tues.

(1) 10:30-12:00 (8-101)

Modularity of Calabi-Yau Varieties

(2) 14:45-16:15 (8-302)

Arithmetic of non-rigid Calabi-Yau threefolds

プログラム (連続講演) 市川尚志 (佐賀大学工学部)

ショットキー・マンフォード一意化と数論幾何、数理物理

6/8-6/10 15:00-17:00

(1) 代数曲線のショットキー・マンフォード一意化 (場所: 3-512)

(2) タイヒミュラー保型形式への応用 (場所: 4-508)

(3) タイヒミュラー基本亜群への応用 (場所: 4-508)

プログラム (連続講演) Professor Demchenko

(St. Petersburg univeristy and Tohoku university)

Lectures on p-divisible groups (場所: 4-508)

6/9 9:30-11:30

6/9 13:00-14:30

6/10 10:00-12:00

プログラム (集中講義) 伊吹山知義 (大阪大学理学部)

: ジーゲル保型形式に対する志村対応の新予想

6/27 -7/1, 14:45-16:15 (場所: 3-508)